

# 令和8年度門真市民総合体育大会

## 軟式野球競技部門（一般の部） 大会規定

### 1. 試合について

- (1) チームは試合時刻30分前までにグラウンドに到着し大会本部に到着の旨報告し当日の打順表を4部と試合球代として1,300円をその都度当該審判員に払うこと。
  - (2) 試合開始時刻にはすべての準備(打順表の確認・攻守の決定・その他注意事項)を完了していること。また選手が9名+1名(チーム代表者等)揃わない場合は棄権とみなす。
  - (3) 打順表(メンバー表)には全員フルネームで記入しフリガナをつけること。
  - (4) 試合予定時刻前でも前の試合が早く終了している場合は予定時刻を繰り上げて試合を開始することができる。
  - (5) 打順表の控え選手欄には、当日出場予定選手の氏名、背番号も記入すること。尚遅れて来た選手で登録原簿に記載されていれば、先の打順表の記入に関係なく球審に告げる事により出場できる。(当門真支部のみ適用)
  - (6) 監督、主将が試合の当日欠場した場合は代理する者の氏名、背番号を当該審判員に通告し了解を得ておくこと。
  - (7) ダッグアウト(ベンチ)は組み合わせの若い方を1塁側とする。
  - (8) 試合中ダッグアウトに入れる人員。
    - ① 登録された同一ユニホームを着用した監督・選手。(10名以上25名以内)
    - ② チーム代表者1名、マネージャー1名、スコアラー1名、トレーナー(有資格者)の4名以内でスポーティな服装を着用のこと。また、子供は絶対に入ることはできない。
  - (9) 助っ人メンバーの起用について
    - ① 門真支部B,Cクラスの試合に限り、助っ人の起用を認める。助っ人メンバーは門真支部所属のBクラス以下のメンバーに限る。
    - ② 助っ人は最大3名まで可能とする。
    - ③ 助っ人を起用する場合、メンバー交換用紙に所属するチームを記載すること。
    - ④ 助っ人が着用するユニホームは、本来所属しているチームの物とする。
    - ⑤ 助っ人はスターティングメンバーで出場すること。ポジションは外野に限る。打順は1人起用の場合は9番打者、2人起用の場合は8番9番打者、3人起用の場合は7番8番9番打者とする。DHでは出場できない。
    - ⑥ 助っ人を起用した場合は、人数を問わず2点を1回表・裏の攻撃で相手チームに加算する。
  - (10) プロ野球選手のアマチュア復帰について  
NPB支配下登録をされていた選手が試合に出場するには、アマチュア復帰申請書の提出が必要である。但し、元NPB選手の登録は1チーム5名までとする。  
育成契約のみ、または独立リーグのみに所属の場合は提出の必要はない。
  - (11) 試合中降雨で続行か中止するかは役員、審判員の判断で決定するものでチームの意見を申し出ることはできない。
  - (12) 小雨の場合でも日程の都合上、グラウンドが使用可能な状態の時は試合を強行することがある。
  - (13) 試合当日降雨その他で、試合中止を決定するのは第一試合開始予定時刻2時間前とする。万が一連絡のつかない場合は現地集合を原則とする。
- 注(14) 試合中不正選手が発覚した時、直ちに没収試合とし相手チームに不戦勝を与える。

(15) タイムの制限は次の通りとする。

守備側：監督またはコーチ等が投手の所へ行く場合。

1試合に3回以内、延長戦は2イニングに1回(持ち越しはできない)

捕手または野手が投手の所に行く場合。

1試合に3回以内、延長戦は2イニングに1回(持ち越しはできない)

攻撃側：1試合・・・3回以内、延長戦・・・2イニングに1回

注1 タイムを要求しないまま延長戦に入っても、持ち越しは出来ない。

注2 ただし少し近付いて声をかけるものなどは含まないが、頻度や距離的なことは、審判員が常識的に判断する。

(16) 抗議出来る者は次の通り

[一般] 監督と当該プレイヤーの内1名以内とする。

試合に関連して暴力行為（施設器物破損含む）を行った選手に対してはその試合以降最低1年間の出場を停止する。

## 2. 用具について

(1) 大会使用球はケンコーボール及びマルエスボールとする。一般はM号を使用し連盟で準備する。但し、試合球代として各チームは試合毎に、1,300円支払うこと。

(2) バット

金属・ハイコン(複合)バットは、J S B B マーク付きの公認のものに限る。

(現在暫定ルールの為、使用グラウンドによってビヨンド関連は禁止する可能性あり)

## 3. 装具について(J S B B 公認のものに限る)

安全のため次の各項は必ず着用しなければならない。

(1) 捕手用マスク(スロートガード付)

(2) レガース(必ず両足に着用のこと)

(3) プロテクター

(4) ヘルメット(打者・次打者・走者は両側イヤラップ必須。但し、門真支部は2028年シーズン終了まで猶予期間とし、片側イヤラップを使用可能とする)

(5) 捕手用ヘルメット(マスクとの一体製品は使用禁止とする)

(6) 捕手のファウルカップ

## 4. ユニホーム等

ユニホームは全体において品位を保つのもでなければならない。

(1) ユニホーム

(2) 帽子

(3) ストッキング・ソックス

(4) アンダーシャツ

(5) ベルト

(注) 全員同色・同型・同意匠のもの。但しアンダーシャツの袖の有無長短は問わないが必ず着用すること。ノースリーブは認められるが上着から出る部分の色は同一である事。Tシャツは認めない。あくまでアンダーシャツであること。尚、上着から出ない部分の色は問題としない。但し、ズボンは1ヵ所に限りデザインの違いを認める。

(注) 義務付けられた用具を着用していないチームは没収試合とする。

選手個人は同一色のものを着用するまで出場できない。

(6) 背番号は0番から99番までとする。

(7) 監督は30番、主将は10番、またコーチを置く場合は28・29番とする。

(8) 胸のチーム名は日本字、ローマ字どちらでもよい。

- (9)ユニホームの左腕には、[門真]又は[大阪]を必ず付ける事。但し、大阪府を代表して出場する近畿・全国大会は「大阪」とする。
- (10)背番号の規格は最小限15.2センチ以上最大限21センチ幅16センチ太さ4センチ以内とする。
- (11)ユニホームの背中に選手名を付けても良いが、背番号の上にローマ字で姓のみとし、付ける場合はチーム全員が同字体同色とする。
- (12)ユニホームの胸又は右袖にマークを付けてもよい。(威圧的でないもの)
- (13)スパイクは色・型は自由であるが両足は同一とし野球用スパイクであること。
- (14)サングラスの着用や、野手が帽子のひさしにのせることは認められる。  
但し、投手はミラーレンズサングラスを使用できない。  
また挨拶時と抗議のときは外すこと。

#### 5. 試合成立と時間制について

- (1)時間制限を採用する。1時間25分・7回戦とし1時間25分で次回に入らない同点の場合は選手9名により抽選で勝敗を決する。(制限時間内に7回を終了して同点の場合でも延長戦はありません)尚、後攻チームが勝っていて裏の攻撃中にタイムアップとなった時には第三アウト前でも試合を終了する。
- (2)抽選は赤印の付いたくじ棒を多く引いたチームが勝ちとする。
- (3)得点差によるコールドゲームは3回以後10点差・5回以降7点差とする。
- (4)優勝戦は、7回戦 1時間40分とする。但し、延長は時間内9回までとする。  
なお、同点の場合は選手9名により抽選で勝敗を決する。
- (5)降雨、暗黒による試合成立(コールドゲーム)は5回または1時間25分(優勝戦は1時間40分)とする。  
コールドゲームの得点はすべて終了した均等回の合計得点とする。  
例えば、両チームが6回の攻撃を均等に完了し、7回の表に先攻チームが得点したが、後攻チームがその裏勝ち越し点を入れるか同点にならない限り、暗黒、降雨などにより試合中止になった場合、終了した均等回数すなわち6回までの合計得点をもって勝敗を決する。
- (6)雷発生時の試合続行か中断かは当該審判員が適時に判断して決定する。
- (7)正式試合になる前でも時間制限を優先する。
- (8)特別継続試合を採用することがある。詳細は全軟連規約による。

#### 6. 試合中の禁止事項並びに遵守事項

- (1)グラウンド内でのフリーバッティングは禁止する。
- (2)シートノックは原則として認めない。但し、キャッチボール、トスバッティングは準備の邪魔にならないように外野に限り認める。
- (3)ダッグアウト、グラウンド内での[タバコ]及び[ガム]等は指定する場所以外は一切禁止する。但し、ダッグアウト内には2名以上は必ず残っていること。
- (4)ダッグアウト内で携帯用マイクを使用することは禁止する。但しメガホンについては監督にかぎり使用を認める。また、ベンチ内では極力携帯電話の使用を禁止する。
- (5)ストライク・ボール・アウト・セーフ・フェア・ファウル等のジャッジ判定に対し抗議は出来ない。また、緩い牽制球については遅延行為とする。
- (6)相手チームや審判員に対する聞き苦しい野次は厳禁する。  
またスタンドでの自チーム側の応援の野次はチームの責任とする。  
(選手はスポーツマンらしくマナーを大切にすべきである。

それが相手チーム、運営者側に対する礼儀である)

- (7) イニングスの先頭打者、または試合中攻撃側の次打者はネクストバッターズボックス内で待機(スタンディングOK)すること。
- (8) 場外に出たファウルボールは攻撃側チームが、場内に関しては近い方のチームが拾いに行くこと。(戻らないときは、チームが新球を提出すること。)
- (9) グラウンド内には試合用具以外のものを持ち込まないこと。  
(素振り用鉄棒・バットリング等)
- (10) 手袋は投手以外は認める。
- (11) 投手は利き腕の手首にリストバンド(サポーター等)を使用することは禁止する。
- (12) タイムは遅延行為とならないよう一分間を限度とする。但し審判員が認めた場合はこの限りでない。
- (13) グラウンドルールは、試合に先だって当該審判員より説明する。
- (14) 打者が頭部にヒットパイッチを受けた場合には、球審は直ちに臨時代走の処置を行うことができる。

7. 連盟主催大会への参加申込は大会要綱の申込締め切り期日までに申し込むこと。  
申込締め切り以降は理由の如何を問わず受け付けない。  
申込は連盟ホームページから締め切り期日までに申請すること。
8. 抽選会へは必ず代表者又は、監督か主将(主将代理)のいずれか1名出席すること。  
欠席の場合は棄権とみなされることがある。尚、出席者は必ずスポーツマンにふさわしい服装(下駄履き、つっかけ、和服は禁止)で出席すること。又、代理抽選の場合は5日以内に参加料を連盟事務所に持参もしくは振込むこと。  
抽選会での説明又は、きめられた事項は必ずチーム全員に周知徹底させること。
9. 登録チームの構成員は通年追加・変更を申請することができる。  
但し、登録には2週間を要し、1回あたり2,000円の事務手続料が必要である。
10. 試合前後にはグラウンドの整備を手伝うこと。又、ベンチを出るチームは清掃してゴミは持ち帰ること。
11. 放棄試合は理由の如何を問わずいけない。万が一そのようなことが生じた場合は審査部会で審議の結果、連盟より処罰される。
12. 競技(試合前後を問わず)運営上、支障をきたす言動を起こした場合、その当事者を競技場から除く。また、内容によっては後日、審査部会に諮り処分を行う。
13. グラウンドで起こった傷害、賠償事故及び車等の物損事故に付いても、一切その責任をもたない。但し、大軟連行事保険を適用する。
14. 上記以外に関する事柄については最新の「公認野球規則」及び「全日本軟式野球連盟競技者必携」並びに、「大軟連要覧」の諸規定を準用する。

## 取 り 決 め 事 項

1. 試合日の3日前には必ず、連盟ホームページで日・時・場所に変更がないかをお確かめください。毎週木曜日以降は、基本的に更新はしません。  
※連盟ホームページ トーナメント日程のお知らせ、他  
<https://www.kadomasbb.com/>
2. 試合当日が雨天の場合は、試合開始2時間前(それ以前は一切分かりません)に決定しますので、その時は下記のグループLINEで配信します。  
※門真支部\_チーム連絡網
3. チーム登録やその他のお問い合わせは、連盟事務局にお問い合わせ下さい。

事 務 局 : オフィス大和田 門真市沖町15-7  
携 帯 電 話 : 0 9 0 - 3 0 5 8 - 9 9 9 7  
E m a i l : ksbb@hera.eonet.ne.jp